

細見工業・金属加工補助

実習期間 令和元年 9月9日~9月21日(10日間)

実習先 細見工業株式会社

1. はじめに

私がインターンシップを行わせていただいた細見工業株式会社様は、ディスプレイ業界でオーダーメイドの金物を制作している企業である。例を挙げると

- ・全国各地の博物館・美術館等各種展示ケース
 - ・公共施設、文化展示施設用金具設備
 - ・イベント、展示会用装飾金物
 - ・ディスプレイ什器、オブジェ、モニュメント、サイン等
 - ・金物制作物(スチール、ステンレス 板版、溶接)
- など、幅広い分野においてデザイン、設計、製作、施工、取付までを一貫して行っている。

社屋内に設計事務所と十分な広さ、機械設備を有する工場の両方を持つことにより、考えた設計の試作もすぐに出て、この設備によりお客様のリクエストにも即座に対応出来る仕組みになっている。

2. 実習内容

1~3日目は、社内のCADソフト及びレーザー加工機を用いたランプシェードの自主制作を行った。以下の図1にCADを用いてデザインしたランプシェードの一面を例として示す。

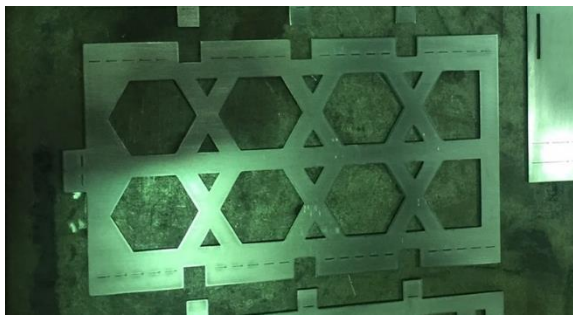


図1 自主制作ランプシェード 一面

図1のように4面のデザインを自分たちで考え、図面をAUTOCADで作成、その後レーザー加工機用のNCプログラムに変換し、加工を開始する。完成品を3. 結果と考察(図2)に示す。

4~10日目は実際に納入する製品に使われる切断加工を行った部材のバリ取り及びシンナー拭き等の加工補助、名刺の分類分けの事務作業、塗装会社へ製品の引き取りの同行を体験させていただいた。

以下図2に自主制作ランプシェードの完成品を示す。

3. 結果と考察

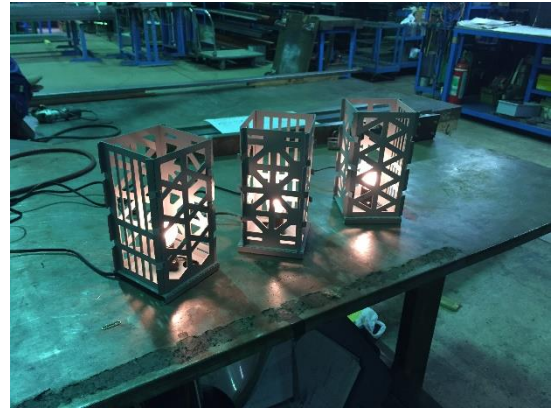


図2 自主制作ランプシェード

製作を行っている時、今行っている作業だけでなく次にどんな作業をするのかを考えるようになり、その上で次の作業効率をどの程度上げることができるのか考えられるようになった。

作業を行う上で服装の面や身の回りに対する注意についても教えていただき、働く中で大切な事を数多く学べた。

シンナーの使い方や学校では見たこともない機械の使い方の実演もしていただき、知識の幅が広がった。

4. 後輩へのアドバイス

インターンシップは、高専の授業で行っている実習とは違い「働く」ということがどういうことなのか学べる場所でした。細見工業株式会社様では、「常にお客様の事を考えて仕事を行う」ということの大切さが学べます。

10日間だと短くらいあっという間に時間が過ぎて行ってしまいます。教えていただいたことをどんどん吸収していけるととても自分のためになると思います。学校では使ったこともなければ見たこともない機械があるのでとても興味が沸くと思います。

最後に、実習が終わり夕方になると会社を出てすぐ目の前にある荒川の河川敷から見える夕日は絶景でした。実習での疲れも消したくくれるような夕日を見て、インターンシップにさらに気合が入ると思います。